

地域活性化モデルケース～地域産業の成長・雇用の維持創出～
選定基準の運用方針

1 定量的評価

以下の①～⑤の選定基準について、定量的評価（A（4点に換算）～E（0点に換算））の判定を行う。

【選定基準】

① 地域産業競争力協議会の成長戦略との整合性

【地元地域資源活用型及び広域地域資源活用型】

地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用したものであるか。

- A：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると極めて十分に認められる。
- B：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると十分に認められる。
- C：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認められる。
- D：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認めるには不十分である。
- E：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認められない。

【産業集積活用型】

地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致するものであるか。

- A：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると極めて十分に認められる。
- B：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地

域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると十分に認められる。

C：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると認められる。

D：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると認めるには不十分である。

E：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であるとは認められない。

② モデル性

持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であるか。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、取組の波及効果が見込まれるか。

A：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると極めて十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、極めて高い波及効果が見込まれる。

B：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、高い波及効果が見込まれる。

C：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果が見込まれる。

D：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認めるには不十分である。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果がほとんど見込まれない。

E：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認められない。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果は見込まれない。

③ 地域適応性

各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。また、地域全体に効果が波及するものであるか。

- A：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると極めて十分に認められる。また、地域全体に極めて高い波及効果が見込まれる。
- B：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると十分に認められる。また、地域全体に高い波及効果が見込まれる。
- C：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認められる。また、地域全体に波及効果が見込まれる。
- D：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認めるには不十分である。また、地域全体に波及効果がほとんど見込まれない。
- E：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認められない。また、地域全体に波及効果が見込まれない。

④ 実現可能性

自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれるか。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であるか。

- A：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を

前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が極めて十分に見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると極めて十二分に認められる。

B：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が十分に見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると十二分に認められる。

C：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認められる。

D：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施がほとんど見込まれない。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認めるには不十分である。

E：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれない。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認められない。

⑤ 持続性

中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・

改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。

- A：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が極めて強く期待できる。
- B：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が強く期待できる。
- C：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できる。
- D：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できると言うには不十分である。
- E：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるとは言えない。

⑥ 評価指標等の設定

地域活性化モデルケース(地域産業)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCA サイクルを着実に回す必要がある。

従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているか。

- A：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が極めて適切に設定されている。
- B：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されている。
- C：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されている。
- D：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているが不適切である。
- E：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、

取組内容に応じた評価指標等が設定されていない。

2 定性的評価

募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあれば、定性的評価を行う。

地域活性化モデルケース～地域産業の成長・雇用の維持創出～
選定評価表(評価項目と評価・採点方法)

1. 事務局

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
応募提案に求められるもの		
1) 所定の様式による提案である	○×	・所定の様式による提案であるか
2) 応募主体が募集要領に基づくものである	○×	・応募主体が、募集要領Ⅲ「応募主体」に基づくものであるか

2. 政策対応チーム及びワーキングチーム

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
選定基準(提案の視点)		
① 地方産業競争力協議会の成長戦略との整合性	A～E	地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、 ①各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用したものであるか。(地元地域資源活用型及び広域地域資源活用型) ②地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致するものであるか。(産業集積活用型)
② モデル性	A～E	持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であるか。また、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、取組の波及効果が見込まれるか。
③ 地域適応性	A～E	各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かし、他地域との差別化が図られ、独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。また、地域全体に効果が波及するものであるか。
④ 実現可能性	A～E	自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業(産業集積活用型では必須)、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネージメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれるか。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取組みが示された実現可能性の高い計画であるか。
⑤ 持続性	A～E	中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動(事業化・自立化)にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。
⑥ 評価指標等の設定	A～E	地域活性化モデルケース(地域産業)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCAサイクルを着実に回す必要がある。従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されているか。
①～⑤の総合的な評価	上記評価項目の総得点 A: 4点 B: 3点 C: 2点 D: 1点 E: 0点	-
定性的評価	募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあるか	